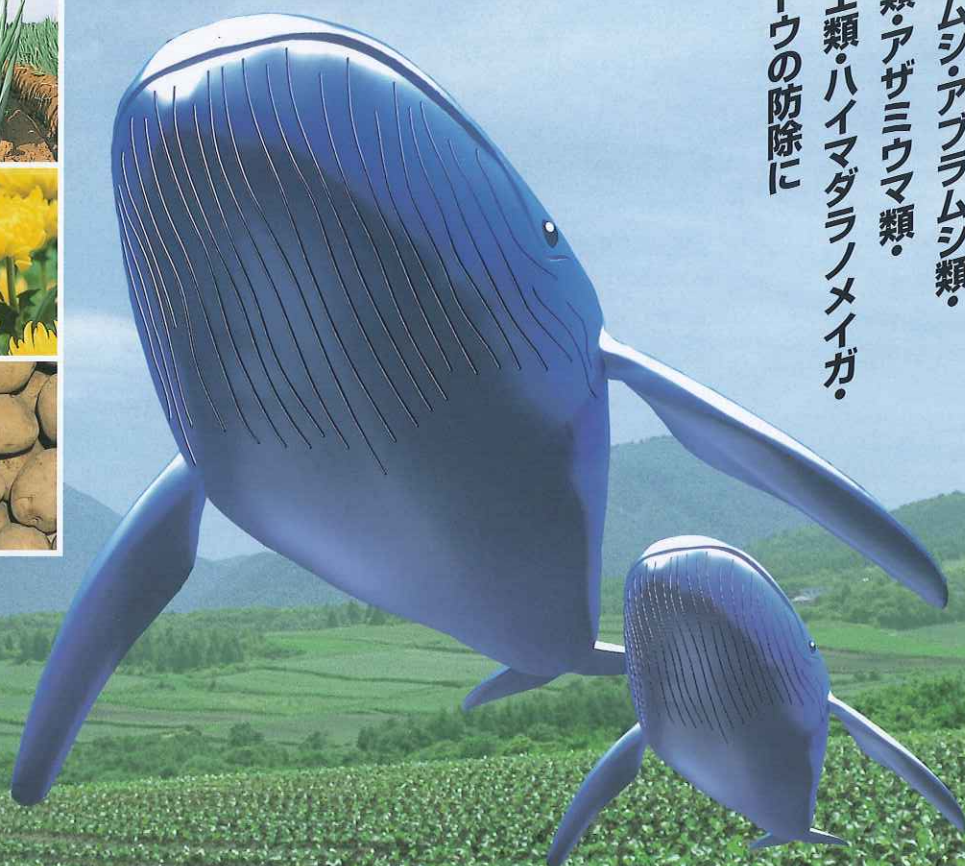


害虫防除の新戦略

でっかい効果

コナガ・アオムシ・アブラムシ類・
コナジラミ類・アザミウマ類・
ハモグリバエ類・ハイマダラノメイガ・
ハスモンヨトウの防除に

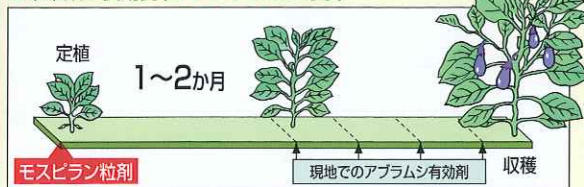


モスピラン粒剤の使い方

●キャベツの使用例(コナガ対象)



●果菜類の使用例(なす:アブラムシ対象)



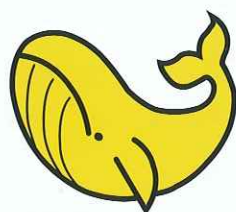
●育苗後半株元処理(定植前日~当日 株元散布)



●植穴土壌混和処理



農林水産省登録 第19114号



モスピラン® 粒剤



日本曹達株式会社

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
 ☎(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084
 ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>
 大阪支店 ☎(06)6229-7343 東京営業所 ☎(03)3279-6961
 札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003
 仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336
 信越営業所 ☎(0255)81-2323 松山営業所 ☎(089)931-7315

適用害虫と使用方法

*印は、収穫物への残留回避のため、本剤及びアセタミプリドを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤	総使用回数*	使用方法	
					アセタミプリド		
キャベツ	コナガ、アオムシ	1～2g/株	定植時	1回	6回 （粒剤の定植時までの 処理は1回 散布および定植後の 株元散布は合計5回）	植穴土壌混和	
	アブラムシ類	0.5～1g/株	定植前日～当日			株元散布	
		1g/株	定植時			植穴土壌混和	
		1～2g/株	定植時			株元散布	
はくさい	ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ	0.5g/株	定植前日～当日		4回 （粒剤の定植時までの 処理は1回 散布および定植後の 株元散布は合計3回）	植穴土壌混和	
	コナガ、アオムシ アブラムシ類	1g/株	定植時			株元散布	
	ハイマダラノメイガ	0.5g/株	定植前日～当日			植穴土壌混和	
ブロッコリー	コナガ	1～2g/株	定植時			株元散布	
	アオムシ	0.5～1g/株	定植前日～当日			植穴土壌混和	
	アブラムシ類	1g/株	定植時			株元散布	
	ハイマダラノメイガ	0.5g/株	定植前日～当日			植穴土壌混和	
ひこしまはるな	アブラムシ類	1g/株	定植時			1回	植穴土壌混和
だいこん、非結球 あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイを除く)	コナガ アブラムシ類	3kg/10a	は種時		1回	播溝土壌混和	
チンゲンサイ	コナガ、アオムシ アブラムシ類	0.5g/株	定植前日～当日		2回	（粒剤の株元散布は1回 散布は1回）	株元散布
レタス	ナモグリバエ、オオタバコガ ヨトウムシ				4回	（粒剤の株元散布は1回 散布は3回）	
	アブラムシ類				0.25～0.5g/株	2回	
非結球レタス	ナモグリバエ、オオタバコガ ヨトウムシ	0.5g/株			0.25～0.5g/株	3回	
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	6kg/10a	は種時			植穴土壌混和	
		植付時	播溝土壌混和				
わけぎ、あさつき			は種時		4回	（土壌混和は合計1回 散布は3回）	播溝土壌混和
			植付時		植穴土壌混和		
えだまめ		3kg/10a	は種時		4回	（は種時または定植時の 土壌混和は合計1回 散布は3回）	播溝土壌混和
		1g/株 (ただし、30kg/10aまで)	定植時	植穴土壌混和			
きゅうり		0.5g/株	定植後、ただし 収穫30日前まで	5回	2%粒剤の定植時の 株元散布は1回 2%粒剤の定植後の 株元散布は1回 散布、くん煙及び1%粒剤の 株元散布は合計3回	株元散布	
		0.5～1g/株	定植時				
かぼちゃ	アブラムシ類	1g/株	定植時	3回	（は種時または定植時の 土壌混和は合計1回 散布および定植後の 株元散布は合計2回）	植穴土壌混和	
			は種時			播溝土壌混和	
すいか				定植時	4回	（定植時の土壌混和は1回 散布、くん煙および定植後の 株元散布は合計3回）	植穴土壌混和
なす		0.5～1g/株	定植前日～当日	4回 （粒剤の定植時までの 処理は1回 散布、くん煙及び定植後の 株元散布は合計3回）	株元散布		
		0.5g/株				植穴土壌混和	
		1g/株				株元散布	
トマト、ミニトマト	コナジラミ類	0.5～1g/株	定植前日～当日		1g/株	定植時	植穴土壌混和
	コナジラミ類	1g/株	定植時			株元散布	
	トマトハモグリバエ						
ピーマン	アブラムシ類	0.5g/株	生育期ただし 収穫前日まで		3回	（粒剤の定植時までの処理は1回 散布、くん煙及び定植後の 株元散布は合計2回）	植穴土壌混和
	コナジラミ類		定植前日～当日				株元散布
いちご	アブラムシ類	0.5～1g/株	定植時	3回	（粒剤の株元散布及び 土壌混和は合計1回 散布及びくん煙は合計2回）	植穴土壌混和	
			生育期 (定植30日後まで) ただし、マルチ被覆直前まで			株元散布	
	コナジラミ類 コガネムシ類幼虫		1g/株			定植時	植穴土壌混和
ふき	コナジラミ類 モモアカアブラムシ	2g/株 (ただし、30kg/10aまで)	収穫90日前まで	3回	（粒剤の株元散布は1回 散布は2回）	株元散布	
セルリー	アブラムシ類	0.5g/株	定植時			植穴土壌混和	
こんにゃく さといも	ワタアブラムシ	3kg/10a	培土時(出芽期)	2回(定植時の土壌混和は1回)	株元土壌混和		
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時			4回	（植付時の土壌混和は1回 植付後は3回）
			0.5～1g/株	定植時	3回(定植後は2回)	株元散布	
たばこ		0.25g/株	育苗期後半				
ストック	ハイマダラノメイガ	0.5g/株	育苗期	5回	株元散布		
きく	アブラムシ類	0.5～1g/株 (ただし、30kg/10aまで)	生育初期	5回(粒剤は1回)			
	アザミウマ類	1g/株	定植時			植穴土壌混和	
	ハモグリバエ類 ミカンキイロアザミウマ	(ただし、30kg/10aまで)				植溝土壌混和	
つつじ類	ツツジグンバイ	3～6kg/10a	発生初期	5回(樹幹注入は1回)	株元散布		
ぶどう	ブドウネアブラムシ	30g/m ² (ただし、6kg/10a以下)	収穫14日前まで	3回	3回	樹冠下または 主幹周辺に散布	
かんきつ(苗木)	ミカンハモグリガ	10～20g/樹	育苗期	1回	1回	株元散布	

効果・薬害等の注意

- キャベツ・ブロッコリー・非結球あぶらな科葉菜類・セルリーに使用する場合は、薬害発生のおそれがあるので使用量を厳守し、根に直接触れぬよう、施用後、土壌とよく混和してから植え付けてください。
- キャベツ・はくさい・ブロッコリー・チンゲンサイ・レタス・非結球レタス・ねぎ・ピーマン・マト・ミニトマトに定植前に使用する場合は、育苗期後半(定植前日～定植当日)に使用し、育苗期前半の使用はさけてください。
- かんきつに用いる場合は、今期に収穫見込みのない苗木に対して株元処理し、処理後は軽く散水してください。なお、本剤を処理してから効果を発揮するまでにある程度期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に処理してください。
- かぼちゃに対して、は種時に播溝土壌混和で使用する場合は、栽植密度に合わせ播溝に株当たり1gに相当する量を均一に施用した後土壌混和してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- 使用の際は、農薬用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをしてください。
- 本剤の中毒に対しては、動物実験でL-メチオンin製剤・グリチルリチン製剤およびグルタチオン製剤の注射投与が有効であるとする報告もあります。
- 街路・公園等で使用する場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に、小児や、使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう、縄囲いや、立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に、保管してください。



コナガ・アブラムシは抵抗性が発達しやすいので、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用し、連続散布はさけてください。

本剤使用の際は

- ①使用前にはラベルをよく読んでください。
- ②ラベルに記載以外には使用しないでください。
- ③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- ④使用後の空袋・空容器等は圃場などに放置せず適切に処理してください。